

学校コード F144310111441

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

注2

別府大学大学院 文学研究科 史学・文化財学専攻（M） （必要がある場合）〇〇専攻

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人別府大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名

職名・氏名

キョウムカチョウ ムロタニセイイチロウ
教務課長 室谷 征一郎

電話番号

0977-66-9621

（夜間）

なし

e-mail

kyomu@nm.beppu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

別府大学大学院 文学研究科

＜史学・文化財学専攻（M）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	13
4. 既設大学等の状況	14
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	24
7. その他全般的事項	25
（添付資料①）建築・校地面積変更書	29
（添付資料②）図面	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人別府大学

(2) 大学名

別府大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒874-8501
大分県別府市大字北石垣82番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ニノミヤ シゲオ) 二宮 滋夫 (平成27年4月)		
学長	(イヌマ ケンジ) 飯沼 賢司 (平成31年4月)	(トモナガ ショク) 友永 植 (令和4年4月)	・別府大学学長 ・任期満了に伴う変更 ・令和4年4月1日(4)
研究科長	(ハリガヤ タケシ) 針谷 武志 (令和3年4月)	(タナカ ユウスケ) 田中 裕介 (令和4年4月)	・任期満了に伴う変更 ・令和4年4月1日(4)
専攻長	(ワタナベ チエミ) 渡辺 智恵美 (令和3年4月)	(シラミネ ジュン) 白峰 旬 (令和4年4月)	・任期満了に伴う変更 ・令和4年4月1日(4)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部や学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください（作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について（依頼）」を確認してください）。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合（令和4年度までの5年間）ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
文学研究科 史学・文化財学専攻（M） 修士（文学）	文学関係	2年	10人	— 年次 — 人	20人		[基礎となる学部] 別府大学文学部 史学・文化財学科
		年	人	人	人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	10 (—) [—]	— (—) [—]	10 (—) [—]	— (—) [—]	0.70 倍	— 倍	令和3年度 開設
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	8 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]			
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	8 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]			
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	8 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]			
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	8 (—) [—]	— (—) [—]	6 (—) [—]	— (—) [—]			
入学定員超過率 B/A							0.80		0.60				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度（令和4年度）から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期									
1年次	- [-] (-)	7 [-] (-)	- [-] (-)	5 [-] (-)	- [-] (-)	令和3年度(1年次) 令和3年度末日現在 ・退学者：1名 令和4年度(2年次) 令和4年5月1日現在 ・再入学者：1名					
2年次	/		- [-] (-)	8 [-] (-)	- [-] (-)						
3年次			/		/		- [-] (-)				
4年次	/						/		- [-] (-)	- [-] (-)	
計			- [-] (-)			7 [-] (-)	13 [-] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	8人	1人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	1人	0人	家庭の事情(1人)
令和4年度	14人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	0人	0人	
			令和4年度	0人	0人	
合計		1人		1人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{8} = \boxed{12.5} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<文学研究科 史学・文化財学専攻 (M) >

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特殊研究	日本史研究ⅠA	1-2前	2		1							
	日本史研究ⅠB	1-2後	2		1							
	日本史研究ⅡA	1-2前	2				1					
	日本史研究ⅡB	1-2後	2					1				
	日本史研究ⅢA	1-2前	2		1							
	日本史研究ⅢB	1-2後	2		1							
	アーカイブズ学研究A	1-2前	2		1							
	アーカイブズ学研究B	1-2後	2		1							
	西洋史研究ⅠA	1-2前	2			1						
	西洋史研究ⅠB	1-2後	2			1						
	西洋史研究ⅡA	1-2前	2		1							
	西洋史研究ⅡB	1-2後	2		1							
	東洋史研究A	1-2前	2			1						
	東洋史研究B	1-2後	2			1						
	考古学研究ⅠA	1-2前	2		1							
	考古学研究ⅠB	1-2後	2		1							
	考古学研究ⅡA	1-2前	2		1							
	考古学研究ⅡB	1-2後	2		1							
	考古学研究ⅢA	1-2前	2		1							
	考古学研究ⅢB	1-2後	2		1							
	民俗学研究A	1-2前	2		1							
	民俗学研究B	1-2後	2		1							
	文化財保存科学研究A	1-2前	2		1							
	文化財保存科学研究B	1-2後	2		1							
	文化財保存修復研究A	1-2前	2		1							
	文化財保存修復研究B	1-2後	2		1							
	美術史学研究A	1-2前	2		1							
	美術史学研究B	1-2後	2		1							
	地理学研究A	1-2前	2		1							
	地理学研究B	1-2後	2		1							
小計(30科目)		-	0	60	0	24	4	2	0	0	兼0	
演習	日本史演習	1-2		8		2						
	アーカイブズ学演習	1-2		8		1						
	西洋史演習	1-2		8		1	1					
	東洋史演習	1-2		8			1					
	考古学演習	1-2		8		3						
	民俗学演習	1-2		8		1						
	文化財保存学演習	1-2		8		2						
	美術史学演習	1-2		8		1						
	地理学演習	1-2		8		1						
小計(9科目)		-	0	72	0	12	2	0	0	0	兼0	
テーマ研究	史料学研究Ⅰ	1-2前	2		1							兼1
	史料学研究Ⅱ	1-2後	2		1							兼1
	アーカイブズ研究Ⅰ	1-2前	2									兼1
	アーカイブズ研究Ⅱ	1-2後	2									兼1
	アーカイブズ研究Ⅲ	1-2前	2									兼1
	アーカイブズ研究Ⅳ	1-2後	2									兼1
	異文化交流研究Ⅰ	1-2前	2		1							
	異文化交流研究Ⅱ	1-2後	2		1							
	文化財学研究Ⅰ	1-2前	2		1							
	文化財学研究Ⅱ	1-2後	2		1							
	文化財学研究Ⅲ	1-2前	2		1							
	文化財学研究Ⅳ	1-2後	2									兼1
	文化財学研究Ⅴ	1-2前	2									兼3
	文化財学研究Ⅵ	1-2後	2									兼1
	文化財学研究Ⅶ	1-2前	2									兼1
文化財学研究Ⅷ	1-2後	2									兼1	
歴史資料論Ⅰ	1-2前	2									兼1	
歴史資料論Ⅱ	1-2後	2									兼1	
歴史資料論Ⅲ	1-2後	2									兼1	
小計(19科目)		-	0	38	0	6	0	0	0	0	兼15	
合計(58科目)		-	0	170	0	42	6	2	0	0	兼15	
卒業要件及び履修方法												
特殊研究からA・B併せて1科目として2科目8単位以上、演習より2年間にわたって同一科目8単位以上、テーマ研究より4科目8単位以上を修得し、合計32単位以上を習得すること。												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特殊研究	日本史研究ⅠA	1-2前	2		1							
	日本史研究ⅠB	1-2後	2		1							
	日本史研究ⅡA	1-2前	2				1					
	日本史研究ⅡB	1-2後	2					1				
	日本史研究ⅢA	1-2前	2		1							
	日本史研究ⅢB	1-2後	2		1							
	アーカイブズ学研究A	1-2前	2		1							
	アーカイブズ学研究B	1-2後	2		1							
	西洋史研究ⅠA	1-2前	2			1						
	西洋史研究ⅠB	1-2後	2			1						
	西洋史研究ⅡA	1-2前	2		1							
	西洋史研究ⅡB	1-2後	2		1							
	東洋史研究A	1-2前	2			1						
	東洋史研究B	1-2後	2			1						
	考古学研究ⅠA	1-2前	2		1							
	考古学研究ⅠB	1-2後	2		1							
	考古学研究ⅡA	1-2前	2		1							
	考古学研究ⅡB	1-2後	2		1							
	考古学研究ⅢA	1-2前	2		1							
	考古学研究ⅢB	1-2後	2		1							
	民俗学研究A	1-2前	2		1							
	民俗学研究B	1-2後	2		1							
	文化財保存科学研究A	1-2前	2		1							
	文化財保存科学研究B	1-2後	2		1							
	文化財保存修復研究A	1-2前	2		1							
	文化財保存修復研究B	1-2後	2		1							
	美術史学研究A	1-2前	2		1							
	美術史学研究B	1-2後	2		1							
	地理学研究A	1-2前	2		1							
	地理学研究B	1-2後	2		1							
小計(30科目)		-	0	60	0	26	2	2	0	0	兼0	
演習	日本史演習	1-2		8		2						
	アーカイブズ学演習	1-2		8		1						
	西洋史演習	1-2		8		1	1					
	東洋史演習	1-2		8			1					
	考古学演習	1-2		8		3						
	民俗学演習	1-2		8		1						
	文化財保存学演習	1-2		8		2						
	美術史学演習	1-2		8		1						
	地理学演習	1-2		8		1						
小計(9科目)		-	0	72	0	12	2	0	0	0	兼0	
テーマ研究	史料学研究Ⅰ	1-2前	2		1							兼1
	史料学研究Ⅱ	1-2後	2		1							兼1
	アーカイブズ研究Ⅰ	1-2前	2									兼1
	アーカイブズ研究Ⅱ	1-2後	2									兼1
	アーカイブズ研究Ⅲ	1-2前	2									兼1
	アーカイブズ研究Ⅳ	1-2後	2									兼1
	異文化交流研究Ⅰ	1-2前	2		1							
	異文化交流研究Ⅱ	1-2後	2		1							
	文化財学研究Ⅰ	1-2前	2		1							
	文化財学研究Ⅱ	1-2後	2		1							
	文化財学研究Ⅲ	1-2前	2		1							
	文化財学研究Ⅳ	1-2後	2									兼1
	文化財学研究Ⅴ	1-2前	2									兼3
	文化財学研究Ⅵ	1-2後	2									兼1
	文化財学研究Ⅶ	1-2前	2									兼1
文化財学研究Ⅷ	1-2後	2									兼1	
歴史資料論Ⅰ	1-2前	2									兼1	
歴史資料論Ⅱ	1-2後	2									兼1	
歴史資料論Ⅲ	1-2後	2									兼1	
小計(19科目)		-	0	38	0	6	0	0	0	0	兼15	
合計(58科目)		-	0	170	0	44	4	2	0	0	兼15	
卒業要件及び履修方法												
特殊研究からA・B併せて1科目として2科目8単位以上、演習より2年間にわたって同一科目8単位以上、テーマ研究より4科目8単位以上を修得し、合計32単位以上を習得すること。												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
特殊研究	日本史研究ⅠA	1・2前	2			1						
	日本史研究ⅠB	1・2後	2			1						
	日本史研究ⅡA	1・2前	2					1				
	日本史研究ⅡB	1・2後	2					1				
	日本史研究ⅢA	1・2前	2			1						
	日本史研究ⅢB	1・2後	2			1						
	アーカイブズ学研究A	1・2前	2			1						
	アーカイブズ学研究B	1・2後	2			1						
	西洋史研究ⅠA	1・2前	2				1					
	西洋史研究ⅠB	1・2後	2				1					
	西洋史研究ⅡA	1・2前	2			1						
	西洋史研究ⅡB	1・2後	2			1						
	東洋史研究A	1・2前	2				1					
	東洋史研究B	1・2後	2				1					
	考古学研究ⅠA	1・2前	2			1						
	考古学研究ⅠB	1・2後	2			1						
	考古学研究ⅡA	1・2前	2			1						
	考古学研究ⅡB	1・2後	2			1						
	考古学研究ⅢA	1・2前	2			1						
	考古学研究ⅢB	1・2後	2			1						
	民俗学研究A	1・2前	2			1						
	民俗学研究B	1・2後	2			1						
	文化財保存科学研究A	1・2前	2			1						
	文化財保存科学研究B	1・2後	2			1						
	文化財保存修復研究A	1・2前	2			1						
	文化財保存修復研究B	1・2後	2			1						
	美術史学研究A	1・2前	2			1						
	美術史学研究B	1・2後	2			1						
	地理学研究A	1・2前	2			1						
	地理学研究B	1・2後	2			1						
小計(30科目)		-	0	60	0	24	4	2	0	0	兼0	
演習	日本史演習	1・2		8		2						
	アーカイブズ学演習	1・2		8		1						
	西洋史演習	1・2		8		1	1					
	東洋史演習	1・2		8			1					
	考古学演習	1・2		8		3						
	民俗学演習	1・2		8		1						
	文化財保存学演習	1・2		8		2						
	美術史学演習	1・2		8		1						
	地理学演習	1・2		8		1						
	小計(9科目)		-	0	72	0	12	2	0	0	0	兼0
テーマ研究	史料学研究Ⅰ	1・2前		2		1						
	史料学研究Ⅱ	1・2後		2								兼1
	アーカイブズ研究Ⅰ	1・2前		2								兼1
	アーカイブズ研究Ⅱ	1・2後		2								兼1
	アーカイブズ研究Ⅲ	1・2前		2								兼1
	アーカイブズ研究Ⅳ	1・2後		2								兼1
	異文化交流研究Ⅰ	1・2前		2		1						
	異文化交流研究Ⅱ	1・2後		2		1						
	文化財学研究Ⅰ	1・2前		2		1						
	文化財学研究Ⅱ	1・2後		2		1						
	文化財学研究Ⅲ	1・2前		2		1						
	文化財学研究Ⅳ	1・2後		2								兼1
	文化財学研究Ⅴ	1・2前		2								兼3
	文化財学研究Ⅵ	1・2後		2								兼1
	文化財学研究Ⅶ	1・2前		2								兼1
文化財学研究Ⅷ	1・2後		2								兼1	
歴史資料論Ⅰ	1・2前		2								兼1	
歴史資料論Ⅱ	1・2後		2								兼1	
歴史資料論Ⅲ	1・2前		2								兼1	
小計(19科目)		-	0	38	0	6	0	0	0	0	兼15	
合計(58科目)		-	0	170	0	42	6	2	0	0	兼15	
卒業要件及び履修方法												
特殊研究からA・B併せて1科目として2科目8単位以上、演習より2年間にわたって同一科目8単位以上、テーマ研究より4科目8単位以上を修得し、合計32単位以上を習得すること。												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任・兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。
 - ・ (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験・実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

- ・ 職位昇任の理由により、「西洋史研究ⅠA」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・ 職位昇任の理由により、「西洋史研究ⅠB」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	58 科目	0 科目	58 科目	0 科目 []	58 科目 []	0 科目 []	58 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{58} = \boxed{}0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	・専用のうち、8,724㎡ は校舎敷地で、宇佐市か らの借用 借用面積 8,724㎡ 貸与期間 H6.8.1～R6.7.31 ・校舎敷地：専用のう ち、宇佐市からの借用分 8,724㎡を返却 (R4.3.31) ・別府大学短期大学部 必要面積 (5,000㎡) と 共用 ・老朽化に伴い宇佐校舎 (706㎡) を取り壊し ・別府大学短期大学部 必要面積 (5,000㎡) と 共用			
	校 舎 敷 地	1,699㎡ 10,423㎡	40,969㎡	22,612㎡	65,280㎡ 74,004㎡				
	運 動 場 用 地	0㎡	25,018㎡	37,684㎡	62,702㎡				
	小 計	1,699㎡ 10,423㎡	65,987㎡	60,296㎡	127,982㎡ 136,706㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	1,699㎡ 10,423㎡	65,987㎡	60,296㎡	127,982㎡ 136,706㎡				
(2) 校 舎	専 用	28,280㎡ 20,986㎡	4,391㎡	13,940㎡	46,611㎡ 47,317㎡	・老朽化に伴い宇佐校舎 (706㎡) を取り壊し ・別府大学短期大学部 必要面積 (5,000㎡) と 共用			
	(28,986㎡)	(4,391㎡)	(13,940㎡)	(47,317㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	・大学全体			
	49 室	61 室	53 室	3 室 (補助職員 2人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		・申請研究科全体			
	文学研究科史学・文化財学専攻 (M)			16 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	・図書、学術雑誌、電子 ジャーナルは文学部史学・ 文化財学科と共用 ・視聴覚資料、機器・ 器具、標本は大学全体	
		文学研究科 史学・文化財学 専攻	4,500 [450] (4,484 [368])	34 [11] (34 [11])	1 [1] (1 [1])	3,700 (3,518)	3,600 (3,416)		75 (69)
	計	4,500 [450] (4,484 [368])	34 [11] (34 [11])	1 [1] (1 [1])	3,700 (3,518)	3,600 (3,416)	75 (69)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			・大学全体、短大と共用 ・図書館改装にともない 変更。フリースペースを 増やし、利便性向上を 図った。	
	2,044 ㎡		422 412		309,000 340,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					・体育館は大学専用 ・体育館以外のスポーツ 施設は別府大学短期大学 部と共用	
	1,695 ㎡		健康センター 4 1 8 ㎡	テニスコート 2, 1 1 3 ㎡		野球場 1 2, 7 4 9 ㎡			
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維持 方法 の 概 要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・文学研究科史学・文化 財学専攻 (M)	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	450千円	450千円	図書購入費	0千円	1,000千円		1,000千円
	共 同 研 究 費 等	1,000千円	1,000千円	設備購入費	0千円	400千円	400千円		
	学 生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		750千円	600千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		1. 寄付金を募集する 自己財源の確保安定化のため個人を対象にした特定公益増進法人寄付金を、法人対象には受配者指定寄付金を募集する。 2. 国・地方公共団体等の補助金等を積極的に活用する。							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	別府大学						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	
文学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
国際言語・文化学科	4	100	—	400	学士(文学)	0.91	0.84		平成21年度	大分県別府市 大字北石垣82番地	
史学・文化財学科	4	100	—	400	学士(文学)	1.15	1.01		平成21年度	同上	
人間関係学科	4	70	—	280	学士(文学)	1.18	1.07		平成12年度	同上	
食物栄養科学部											
食物栄養学科	4	70	7	294	学士(栄養学)	1.15	1.16		平成14年度	同上	
発酵食品学科	4	50	—	200	学士(食物ハイク)	0.73	0.94		平成18年度	同上	
国際経営学部											
国際経営学科	4	100	—	400	学士(経営学)	1.01	0.95		平成21年度	同上	

大学の名称	別府大学大学院					学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度	年度	
文学研究科											
歴史学専攻 博士前期課程	2	10	—	20	修士 (文学)	0.00	—		平成9年度	大分県別府市 大字北石垣82番地	・令和2年8月 学生募集停止
歴史学専攻 博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.00	—		平成11年度	同上	・令和2年8月 学生募集停止
日本語・日本文学 専攻博士前期課程	2	10	—	20	修士 (文学)	0.10	0.00		平成10年度	同上	
日本語・日本文学 専攻博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.00	0.00		平成12年度	同上	
文化財学専攻 博士前期課程	2	10	—	20	修士 (文学)	0.00	—		平成11年度	同上	・令和2年8月 学生募集停止
文化財学専攻 博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.00	—		平成13年度	同上	・令和2年8月 学生募集停止
史学・文化財学専攻 (M)	2	10	—	20	修士 (文学)	0.65	0.50	該当なし	令和3年度	同上	
史学・文化財学専攻 (D)	3	3	—	9	博士 (文学)	0.00	0.00	該当なし	令和3年度	同上	
臨床心理学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (文学)	0.75	0.80		平成16年度	同上	
食物栄養科学研究科											
食物栄養学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (栄養学)	0.10	0.10		平成18年度	同上	

大学の名称	別府大学短期大学部						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
食物栄養科	2	50	—	100	短期大学士(栄養学)	1.01	1.18		昭和29年度	大分県別府市 大字北石垣82番地	
初等教育科	2	200	—	400	短期大学士(教育学)	1.02	1.07		昭和37年度	同上	
専攻科											
初等教育専攻	2	15	—	30	—	0.80	0.60		平成8年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<史学・文化財学専攻 (M) >

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学長)	飯沼 賢司 (66) <令和3年4月> 文学修士※	日本史研究ⅠA 日本史研究ⅠB 日本史演習
専	教授	白峰 旬 (59) <令和3年4月> 博士(歴史学)	日本史研究ⅢA 日本史研究ⅢB 日本史演習 史料学研究Ⅰ
専	教授	針谷 武志 (57) <令和3年4月> 文学修士※	アーカイブズ学研究A アーカイブズ学研究B アーカイブズ学演習
専	教授	佐藤 孝裕 (60) <令和3年4月> 文学修士	西洋史研究ⅡA 西洋史研究ⅡB 西洋史演習 異文化交流研究Ⅰ 異文化交流研究Ⅱ
専	教授	下村 智 (66) <令和3年4月> 文学修士	考古学研究ⅠA 考古学研究ⅠB 考古学演習 文化財学研究Ⅱ
専	教授	田中 裕介 (60) <令和3年4月> 文学士	考古学研究ⅡA 考古学研究ⅡB 考古学演習 文化財学研究Ⅰ
専	教授	段上 達雄 (67) <令和3年4月> 芸術学修士	民俗学研究A 民俗学研究B 民俗学演習
専	教授	渡辺 智恵美 (62) <令和3年4月> 文学士	文化財保存科学研究A 文化財保存科学研究B 文化財保存学演習
専	教授	篠崎 悠美子 (62) <令和3年4月> 修士(芸術学)	文化財保存修復研究A 文化財保存修復研究B 文化財保存学演習
専	教授	安松 みゆき (61) <令和3年4月> 博士(文学)	美術史学研究A 美術史学研究B 美術史学演習
専	教授	中山 昭則 (61) <令和3年4月> 博士(学術)	地理学研究A 地理学研究B 地理学演習 文化財学研究Ⅲ
専	教授	上野 淳也 (46) <令和3年4月> 博士(文学)	考古学研究ⅢA 考古学研究ⅢB 考古学演習 歴史資料論Ⅰ

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授 (学長)	飯沼 賢司 (67) <令和3年4月> 文学修士※	日本史研究ⅠA 日本史研究ⅠB 日本史演習
専	教授	白峰 旬 (60) <令和3年4月> 博士(歴史学)	日本史研究ⅢA 日本史研究ⅢB 日本史演習 史料学研究Ⅰ
専	教授	針谷 武志 (58) <令和3年4月> 文学修士※	アーカイブズ学研究A アーカイブズ学研究B アーカイブズ学演習
専	教授	佐藤 孝裕 (61) <令和3年4月> 文学修士	西洋史研究ⅡA 西洋史研究ⅡB 西洋史演習 異文化交流研究Ⅰ 異文化交流研究Ⅱ
専	教授	下村 智 (67) <令和3年4月> 文学修士	考古学研究ⅠA 考古学研究ⅠB 考古学演習 文化財学研究Ⅱ
専	教授	田中 裕介 (61) <令和3年4月> 文学士	考古学研究ⅡA 考古学研究ⅡB 考古学演習 文化財学研究Ⅰ
専	教授	段上 達雄 (68) <令和3年4月> 芸術学修士	民俗学研究A 民俗学研究B 民俗学演習
専	教授	渡辺 智恵美 (63) <令和3年4月> 文学士	文化財保存科学研究A 文化財保存科学研究B 文化財保存学演習
専	教授	篠崎 悠美子 (63) <令和3年4月> 修士(芸術学)	文化財保存修復研究A 文化財保存修復研究B 文化財保存学演習
専	教授	安松 みゆき (62) <令和3年4月> 博士(文学)	美術史学研究A 美術史学研究B 美術史学演習
専	教授	中山 昭則 (62) <令和3年4月> 博士(学術)	地理学研究A 地理学研究B 地理学演習 文化財学研究Ⅲ
専	教授	上野 淳也 (47) <令和3年4月> 博士(文学)	考古学研究ⅢA 考古学研究ⅢB 考古学演習 歴史資料論Ⅰ

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	飯沼 賢司 (68) <令和3年4月> 文学修士※	日本史研究ⅠA 日本史研究ⅠB 日本史演習
専	教授	白峰 旬 (61) <令和3年4月> 博士(歴史学)	日本史研究ⅢA 日本史研究ⅢB 日本史演習 史料学研究Ⅰ
専	教授	針谷 武志 (59) <令和3年4月> 文学修士※	アーカイブズ学研究A アーカイブズ学研究B アーカイブズ学演習
専	教授	佐藤 孝裕 (62) <令和3年4月> 文学修士	西洋史研究ⅡA 西洋史研究ⅡB 西洋史演習 異文化交流研究Ⅰ 異文化交流研究Ⅱ
専	教授	下村 智 (68) <令和3年4月> 文学修士	考古学研究ⅠA 考古学研究ⅠB 考古学演習 文化財学研究Ⅱ
専	教授	田中 裕介 (62) <令和3年4月> 文学士	考古学研究ⅡA 考古学研究ⅡB 考古学演習 文化財学研究Ⅰ
専	教授	段上 達雄 (69) <令和3年4月> 芸術学修士	民俗学研究A 民俗学研究B 民俗学演習
専	教授	渡辺 智恵美 (64) <令和3年4月> 文学士	文化財保存科学研究A 文化財保存科学研究B 文化財保存学演習
専	教授	篠崎 悠美子 (64) <令和3年4月> 修士(芸術学)	文化財保存修復研究A 文化財保存修復研究B 文化財保存学演習
専	教授	安松 みゆき (63) <令和3年4月> 博士(文学)	美術史学研究A 美術史学研究B 美術史学演習
専	教授	中山 昭則 (63) <令和3年4月> 博士(学術)	地理学研究A 地理学研究B 地理学演習 文化財学研究Ⅲ
専	教授	上野 淳也 (48) <令和3年4月> 博士(文学)	考古学研究ⅢA 考古学研究ⅢB 考古学演習 歴史資料論Ⅰ

【認可時又は届出時】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯坂 晃治 (45) <令和3年4月> 博士(文学) 西洋史研究 I A 西洋史研究 I B 西洋史演習
専	准教授	宮崎 聖明 (46) <令和3年4月> 博士(文学) 東洋史研究 A 東洋史研究 B 東洋史演習
専	講師	赤松 美亮 秀亮 (29) <令和3年4月> 博士(文学) 日本史研究 II A 日本史研究 II B
兼任	講師	山本 晴樹 (69) <令和3年4月> 修士(文学) 史料学研究 II
兼任	講師	平井 義人 (64) <令和3年4月> 修士(教育学) アーカイブズ研究 I アーカイブズ研究 IV
兼任	講師	三輪 宗弘 (60) <令和3年4月> 修士(工学) アーカイブズ研究 II
兼任	講師	平田 豊弘 (63) <令和3年4月> 修士(文化情報学) アーカイブズ研究 III
兼任	講師	春田 直紀 (55) <令和3年4月> 修士(文学) 文化財学研究 IV
兼任	講師	小池 史哲 (69) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	安楽 勉 (73) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	川原 和人 (68) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	立平 進 (70) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 VI
兼任	講師	今津 節生 (64) <令和3年4月> 博士(学術) 文化財学研究 VII
兼任	講師	秋山 純子 (48) <令和3年4月> 博士(文化財学) 文化財学研究 VIII
兼任	講師	仲瀬 真信 (67) <令和3年4月> 文学修士 歴史資料論 II

【令和3年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯坂 晃治 (46) <令和3年4月> 博士(文学) 西洋史研究 I A 西洋史研究 I B 西洋史演習
専	准教授	宮崎 聖明 (47) <令和3年4月> 博士(文学) 東洋史研究 A 東洋史研究 B 東洋史演習
専	講師	赤松 美亮 秀亮 (30) <令和3年4月> 博士(文学) 日本史研究 II A 日本史研究 II B
兼任	講師	山本 晴樹 (70) <令和3年4月> 修士(文学) 史料学研究 II
兼任	講師	平井 義人 (65) <令和3年4月> 修士(教育学) アーカイブズ研究 I アーカイブズ研究 IV
兼任	講師	三輪 宗弘 (61) <令和3年4月> 修士(工学) アーカイブズ研究 II
兼任	講師	平田 豊弘 (64) <令和3年4月> 修士(文化情報学) アーカイブズ研究 III
兼任	講師	春田 直紀 (56) <令和3年4月> 修士(文学) 文化財学研究 IV
兼任	講師	小池 史哲 (70) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	安楽 勉 (74) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	川原 和人 (69) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	立平 進 (71) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 VI
兼任	講師	今津 節生 (65) <令和3年4月> 博士(学術) 文化財学研究 VII
兼任	講師	秋山 純子 (49) <令和3年4月> 博士(文化財学) 文化財学研究 VIII
兼任	講師	仲瀬 真信 (68) <令和3年4月> 文学修士 歴史資料論 II

【令和4年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	飯坂 晃治 (47) <令和3年4月> 博士(文学) 西洋史研究 I A 西洋史研究 I B 西洋史演習
専	准教授	宮崎 聖明 (48) <令和3年4月> 博士(文学) 東洋史研究 A 東洋史研究 B 東洋史演習
専	講師	赤松 美亮 秀亮 (31) <令和3年4月> 博士(文学) 日本史研究 II A 日本史研究 II B
兼任	講師	山本 晴樹 (71) <令和3年4月> 修士(文学) 史料学研究 II
兼任	講師	平井 義人 (66) <令和3年4月> 修士(教育学) アーカイブズ研究 I アーカイブズ研究 IV
兼任	講師	三輪 宗弘 (62) <令和3年4月> 修士(工学) アーカイブズ研究 II
兼任	講師	平田 豊弘 (65) <令和3年4月> 修士(文化情報学) アーカイブズ研究 III
兼任	講師	春田 直紀 (57) <令和3年4月> 修士(文学) 文化財学研究 IV
兼任	講師	小池 史哲 (71) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	安楽 勉 (75) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	川原 和人 (70) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 V
兼任	講師	立平 進 (72) <令和3年4月> 文学士 文化財学研究 VI
兼任	講師	今津 節生 (66) <令和3年4月> 博士(学術) 文化財学研究 VII
兼任	講師	秋山 純子 (50) <令和3年4月> 博士(文化財学) 文化財学研究 VIII
兼任	講師	仲瀬 真信 (69) <令和3年4月> 文学修士 歴史資料論 II

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大林 賢太郎 (60) <令和3年4月> 文学士
		歴史資料論Ⅲ

【令和3年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大林 賢太郎 (61) <令和3年4月> 文学士
		歴史資料論Ⅲ

【令和4年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	大林 賢太郎 (62) <令和3年4月> 文学士
		歴史資料論Ⅲ

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から重要となっている箇所は太字の赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

--

【令和2年度】

--

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

<ul style="list-style-type: none">・令和4年4月、学長交代に基づき「飯沼賢司」の職名を「教授（学長）」から「教授」へ変更。・令和4年4月、教員の昇任に基づき「飯坂晃治」の職名を「准教授」から「教授」へ変更。・教員名の漢字表記に記載ミスがあったため「赤松英亮」から「赤松秀亮」へ訂正。
--

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和2年度開設であれば令和元年度）の表は削除せず、斜線を入れてください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
12	2	1	0	15	0	13	1	1	0	15	0
(12)	(2)	(1)	(0)	(15)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
14	0	1				14	0	1			
(14)	(0)	(1)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
13	1	1	0	15	0	13	1	1	0	15	0
[+1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[+1]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
14	0	1				14	0	1			
[0]	[0]	[0]				[0]	[0]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
教授：65 教授以外：60	3	3
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二重書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{3}{15} = \boxed{20} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{15} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和3年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>該当なし。</p>

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和3年)	・完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について検討すること。	遵守事項 ・退職年齢を超えた教員については完成年度まで定年を延長して、専攻の研究指導教員を担当させる。 その後任者については既に採用しており、指導教員への昇任などで、その後を担う予定である。	履行中 ・開設年度までに後任となる教員4名を採用した。 その教員を含めた専攻教員に、経験と研究実績を積ませて指導教員に任命することを計画しており、指導体制を維持していく。
設置計画履行状況 調査結果 (令和4年)	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<文学研究科 史学・文化財学専攻（M）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・大学院FD委員会

別府大学大学院FD委員会規程

第1条 別府大学大学院にFD（Faculty Development）委員会（以下「委員会」という）を置く。

第2条 委員会は、「大学院設置基準」（昭和49年6月20日文部省令第28号）第14条の3、及び「別府大学大学院学則」第3条の規定と趣旨をふまえ、大学院の授業及び研究指導の内容及び方法の改善を図るため、研修及び研究を、組織的かつ計画的に行うことを主たる目的とする。

第3条 委員会は、前項の目的を達成するために次の事項を取り扱う。

- (1) 授業内容と授業方法の自己点検と改善に関すること。
- (2) 学位の授与までの研究指導に関すること。
- (3) カリキュラムの改善に関すること。
- (4) 授業の公開、学生評価に関すること。
- (5) 試験問題と成績評価の改善に関すること。
- (6) FDの公開に関すること。
- (7) その他FDの推進に関すること。

第4条 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

- (1) 大学院委員会委員長
- (2) 研究科長
- (3) 各専攻から選出された者1名
- (4) 大学事務局長
- (5) その他必要に応じて大学院委員会委員長が委嘱した者 若干名

第5条 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

第6条 委員会に委員長を置き、大学院委員会委員長がこれにあたる。

2 委員長は委員会を招集し、議長となる。

第7条 委員会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（補則）

第9条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営等に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

附 則

この規程は、平成19年4月1日から施行する。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

例年9月開催。昨年度は9月22日開催。大学院委員長（学長）、文学研究科長、食物栄養科学研究科長、日本語・日本文学、史学・文化財学、臨床心理学、食物栄養学の4専攻より委員各1名が参加。

c 委員会の審議事項等

FD開催案 日時、内容等

② 実施状況

a 実施内容

- ・大学院生による授業評価アンケートの結果に基づき、改善案について両研究科長より報告。4専攻より、授業実施方法などの改善案を提示、検討する。

b 実施方法

- ・報告会形式

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・9月実施予定（昨年度は9月22日に実施）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・各専攻により対応策を実施、多くは指導を通しての改善を図る。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・実施している。6月下旬から7月上旬にかけて。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・教員には上記FDにより公開および検証をしている。学生には検証結果を指導において提示する。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本専攻の設置の趣旨は、従来の歴史学専攻と文化財学専攻を統合して、両専攻の潜在能力を有効に発揮し、定員をスリムにして教員の力を大学院に集中することであるが、博士前期課程の入学者は初年度8名、第二年度6名であり、その趣旨にそった方向で推移している。

本専攻の目的は、歴史系専門職・文化財専門職などの専門的知識・技能をもった実践的な人材を養成すること、博士後期課程につながる研究者の養成の二つであるが、前者については教育実践中であり、今後成果が期待される。後者についてはなお今後の大学院生の成長を経て、研究者としての自立が期待される場所である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和4年9月（令和3年度の活動に対する評価）に公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

- ・大学全体において、令和元年度に認証評価を受審した。

次回は、令和8年度に評価機関（日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく、学内で検討中。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト上に公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

建築等設置計画・校地面積 変更書

令和3年度開設

別府大学大学院 史学・文化財学専攻 (M)		
建物区分・団地名称	認可時の計画	変更計画
[校舎面積の減少] ①宇佐校舎	706㎡	0㎡
[校舎敷地面積の減少] ②宇佐校舎敷地	8,724㎡	0㎡
	①老朽化のため取り壊し。 設置基準は満たしており支障はない。 ②上記校舎取り壊しに伴い、宇佐市へ返却。 設置基準は満たしており支障はない。	

- (注) 1 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、上記様式により提出してください。
 ただし、面積の増加や建築計画と登記上の面積の誤差並びに建築計画が早まる場合には、この書類の提出は不要です。
- 2 面積の減少及び校舎建て替えの場合には、変更に係る図面及び新旧対照表を、建築計画の遅延の場合には、工程表をそれぞれ添付してください。
- 3 校地の計画の変更が生じる場合には、「建築等設置計画変更書」を「校地面積変更書」に、「建物区分」欄を「団地の名称」に変更して提出してください。

(添付資料②)

